

竹炭パワーで連作土壌の改善と作物の品質アップを!

営農竹炭

～土壌改良効果として～

木炭の数倍も多孔質な竹炭は、高い吸着能力でたくさんの細孔に多くの水分、空気(酸素)を蓄えます。土壌に施用すると、通気性・通水性・保水性が改善され作物の根の酸欠を防ぐとともに、吸着された養水分も作物に供給されやすくなります。また竹炭には有用微生物を活性させる特徴があり、病害の抑制効果が期待できます。

使用例(ホウレンソウ)

使用区

未使用区



↑使用区は茎が太く生育旺盛。収量もアップ。糖度の上昇や硝酸イオン値の減少がみられ品質が向上しました。

(当社試験にて。)

●粒度目安 (3タイプ)



1号炭(2ミリ以下)

微粉混在、土壌及び飼料用



2号炭(4ミリ以下)

土壌用



3号炭(4ミリ以上)

園芸、水質、環境、浄化用

※ご注意
・直射日光、高熱、火気等の近くでは絶対に保管しないでください。
・袋の破損に留意され、水分及び湿度が入らないようお気を付けてください。
・写真と現物粒度は多少異なる場合がございます。

全国有数の竹の産地、福岡県八女産孟宗竹を原材料に使用しています。



～作物の生長促進効果として～

本邦随一の高品質竹炭です。

竹炭には木炭に比べ、ケイ酸やカリウムなどのミネラルが豊富に含まれています。水に溶出しやすく作物が吸収しやすいので、成長の促進や耐病性・品質の向上が期待できます。

●使用法

- ・播種、定植前の耕起時に畑に散布してください。
- ・発芽、定植後にご使用時は、株元に散布ください。
- ・部分的にウネ毎使用や、植込み穴底に適量の局部施用は経済的かつ効果的です。

●使用量

- ・畑全面施用時は10a当り10～15袋、施設園芸では15～20袋を目安にご使用下さい。
- ・全果樹類、1本の根周りに約3～5ℓ軽くすき込んで下さい。
- ・鉢やプランターなど3～10%混入されると用土が長持ちします。

●施用目安(全面施用時)

1坪当り	1～1.5ℓ
1a(30坪)当り	30～45ℓ(1～1.5袋)
10a(1反)当り	300～400ℓ(10～15袋)